

2021年2月2日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
 代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
 (コード番号：4579)
 問 合 せ 先 取締役 河田 喜一郎
 (TEL. 052-446-6100)

**営業外収益及び営業外費用（為替差損）の計上並びに
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

最近の業績及び為替の動向等を踏まえ、2020年12月28日に公表いたしました通期連結業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（有価証券利息）の内容

当第4四半期連結会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）において、保有する外貨建て債券等の受取利息により、営業外収益として有価証券利息5百万円を計上いたしました。なお、当連結会計年度（2020年1月1日～2020年12月31日）においては、有価証券利息28百万円を計上することとなりました。

2. 営業外費用（為替差損）の内容

当第4四半期連結会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）において、為替相場の変動により為替差損が発生したため、営業外費用として為替差損30百万円を計上いたしました。なお、当連結会計年度（2020年1月1日～2020年12月31日）においては、為替差損75百万円を計上することとなりました。これは主に当社が保有する外貨建ての預金や売掛金に対するものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

3. 2020年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	連結事業収益	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	852	△753	△759	△843	△40.24
今回修正予想 (B)	1,107	△486	△527	△606	△28.97
増減額 (B-A)	255	267	232	237	—
増減率 (%)	29.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2019年12月期)	1,702	△15	21	5	0.26

4. 修正の理由

事業収益につきましては、前回発表予想比255百万円増加（予想比29.9%）する見通しとなりました。これは主に、韓国におけるtegoprazanの販売が新型コロナウイルス感染症の流行拡大にも拘わらず好調で、前回発表予想よりも販売ロイヤルティが30%以上増加したことによります。事業費用につきましては、委託試験等の研究開発費や特許費用等の発生が前回発表予想比12百万円減少（予想比△0.1%）したことにより、営業利益は前回発表予想比267百万円増加（予想比35.5%）する見込みです。営業外損益につきましては、為替レートが円高基調に進んだことから為替差損が31百万円増加し、経常利益は前回予想比232百万円増加（予想比30.6%）となる見通しです。

以上の結果、事業収益1,107百万円（前回発表予想852百万円）、営業利益△486百万円（同△753百万円）、経常利益△527百万円（同△759百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益△606百万円（同△843百万円）に修正いたします。

以 上

※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。